# 令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

| | |
|---|---|
| 助成団体 | 北海道小樽市 |
| 事業細目名 | 天然芝改設事業 |
| 事業名 | 手宮公園競技場天然芝生化改設事業 |
| 助成金額 | 71,226,000 円 |

令和５年度地域スポーツ施設整備助成を受けて、陸上競技場の天然芝改設を行った北海道小樽市に対して調査を実施しました。

手宮公園陸上競技場は、昭和９年に設置された道内でも最も古い陸上競技場のひとつだそうです。小樽市を含む後志管内には日本陸連公認の陸上競技場が数少ないため、市民のみならず周辺自治体住民にとっても貴重な競技実施の場として活用されているそうです。

■助成の意義

取得していた日本陸連第 3 種陸上競技場としての公認期間が終了することとなり、引き続き地域の貴重な公認陸上競技場として活用される必要があることから、スポーツ振興くじ助成を活用して公認取得に必要なインフィールド天然芝の張替えを行うこととしたそうです。

改修前は、芝の盛り上がりによる不陸があったため、公式大会における正確な記録の計測に支障を来たす恐れがありましたが、改修によって日本陸連３種陸上競技場としての公認が無事に取得できたことから、今後も数多くの競技会を継続して開催できる見通しが立ったそうです。

さらに、改修前は、経年により芝が摩耗し地表が露出していたため、スポーツの安全な実施にも支障を来たす恐れがありましたが、改修により利用者からは「ケガの恐れがなくなりウォーミングアップ等で使用しやすくなった」という声があるなど、安全で快適に運動が実施できるようになったと好評を得ているそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

また、芝種には寒冷地であることに加え、改修後に利用率が上昇するであろうことを考慮し、寒さに強く、回復力の強い品種を選定したとのことです。

■所感

今回の調査では、地域の陸上競技を支える中核施設の運営にくじ助成が有効活用されている現場を間近に見ることが出来ました。現状でも数多くの利用がある施設ですが、市では利用者にとってより安全かつ快適で使いやすい施設となるよう、くじ助成を活用して更なる改修も検討していきたいとのことです。JSC としてもより効果的なくじ助成の実現に向けて、引き続き検討を重ねていきたいと思います。

（令和 6 年 9 月 20 日往査）

（写真）手宮公園陸上競技場



